

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）

島本町教育委員会

調査対象・時期

調査対象 中学校2年生
 調査時期 令和5年4月～7月の間に各学校において実施

実技集計結果（中学校・男子）

中学校 2年男子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R5全国	29.0	50.0	25.8	50.0
R5島本町	27.7	48.1	25.6	49.7
R4島本町	29.8	51.1	27.4	52.6

中学校 2年男子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	44.2	50.0	51.2	50.0
R5島本町	36.2	42.9	49.6	48.1
R4島本町	45.3	51.3	56.5	56.1

中学校 2年男子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	409.0	50.0	78.1	50.0
R5島本町			79.9	50.7
R4島本町			76.5	49.4

※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R4年度、R5年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年男子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	8.0	50.0	197.0	50.0
R5島本町	7.8	51.8	187.9	47.0
R4島本町	7.8	52.1	198.9	50.7

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	20.4	50.0	41.3	50.0
R5島本町	18.6	47.1	38.5	47.4
R4島本町	19.3	48.4	44.6	53.3

実技集計結果 (中学校・女子)

中学校 2年女子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R5全国	23.2	50.0	21.6	50.0
R5島本町	23.2	50.1	21.0	48.9
R4島本町	23.4	50.3	22.8	52.0

中学校 2年女子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	46.3	50.0	45.7	50.0
R5島本町	42.9	46.8	48.0	53.1
R4島本町	41.9	46.1	49.7	55.3

中学校 2年女子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	306.3	50.0	50.7	50.0
R5島本町			52.6	51.0
R4島本町			53.0	50.7

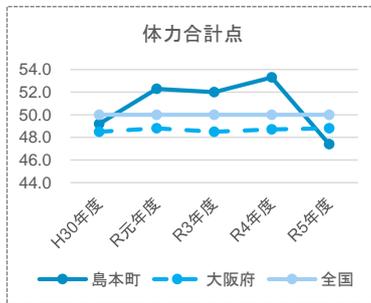
※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R4年度、R5年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年女子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	9.0	50.0	166.3	50.0
R5島本町	8.8	51.2	162.4	48.5
R4島本町	8.7	52.7	164.2	48.9

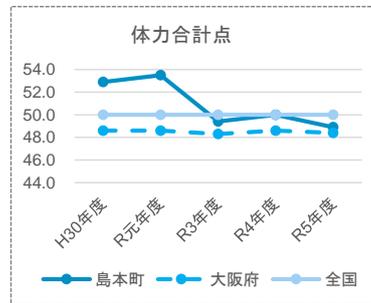
中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R5全国	12.4	50.0	47.2	50.0
R5島本町	10.9	46.5	45.9	48.9
R4島本町	10.7	45.9	47.4	50.0

結果の概要 (中学校) 体力合計点の経年比較(T得点【全国50とした比較値】)

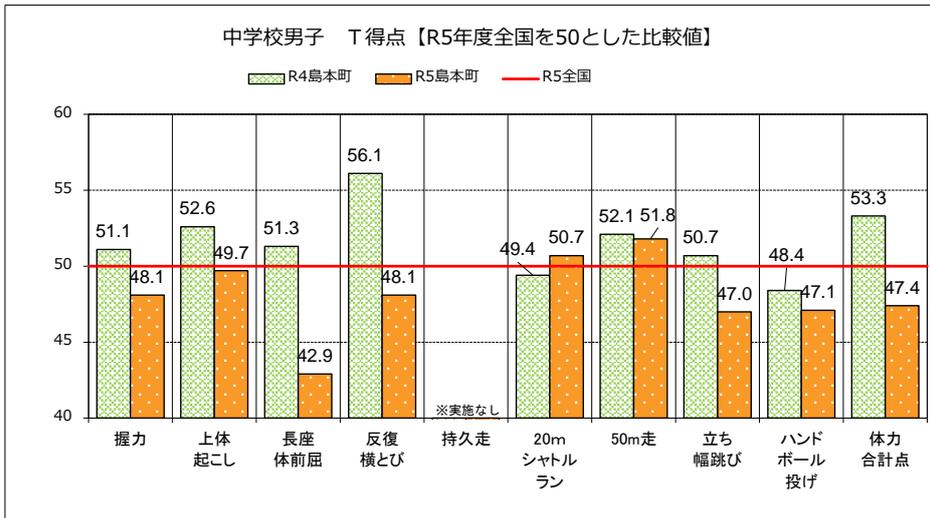
【中学校男子】



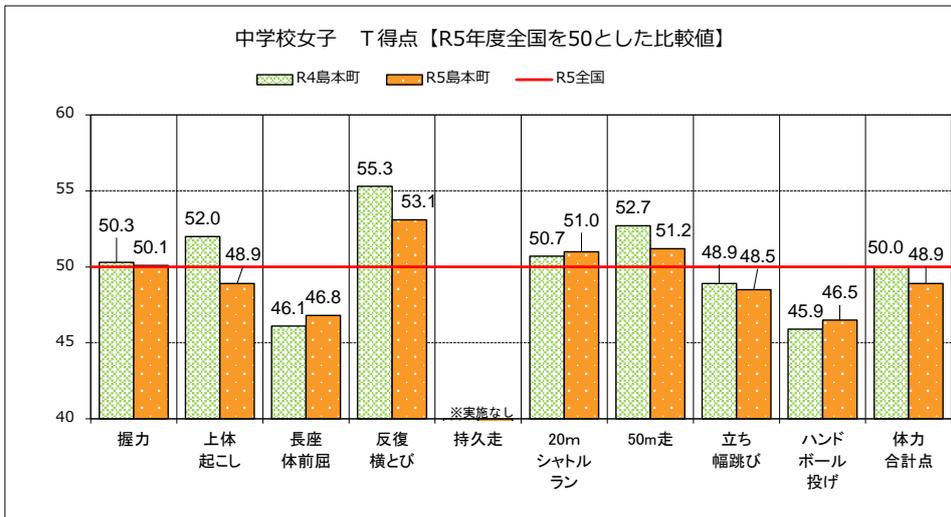
【中学校女子】



年度	中学校男子			中学校女子		
	島本町	大阪府	全国	島本町	大阪府	全国
H30年度	49.2	48.5	50.0	52.9	48.6	50.0
R元年度	52.3	48.8	50.0	53.5	48.6	50.0
R3年度	52.0	48.5	50.0	49.4	48.3	50.0
R4年度	53.3	48.7	50.0	50.0	48.6	50.0
R5年度	47.4	48.8	50.0	48.9	48.4	50.0

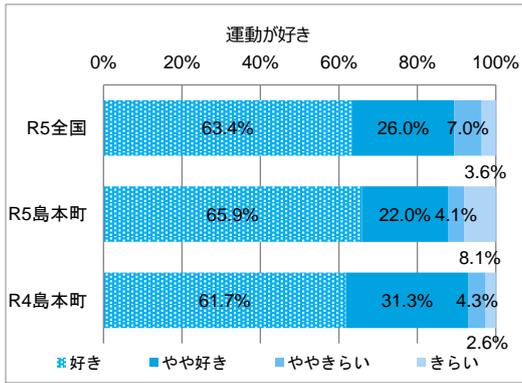


○種目別では、「20mシャトルラン」「50m走」が全国より高い結果となった。また、令和4年度と比較すると、「20mシャトルラン」でT得点が伸びている。…**成果①**
 ●体力合計点におけるT得点は、【47.4】で、全国より低い結果となり、令和4年度と比較して5.9ポイント減少した。…**課題①**
 ●「20mシャトルラン」以外のT得点が令和4年度より減少し、特に「長座体前屈」が8.4ポイント、「反復横とび」が8.0ポイント減少した。…**課題②**

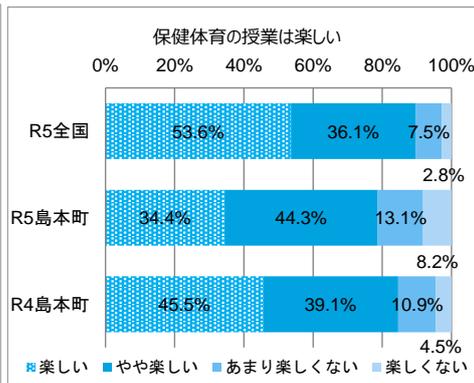


○種目別では、「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」の4種目で、全国より高い結果となった。また、令和4年度と比較すると、「長座体前屈」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」の3種目でT得点が伸びている。…**成果①**
 ●体力合計点におけるT得点は、【48.9】で、令和4年度より1.1ポイント減少した。
 ●「上体起こし」は、令和4年度と比較して3.1ポイント減少した。「反復横とび」も全国より高い結果であるものの、令和4年度と比較して2.2ポイント減少した。…**課題②**

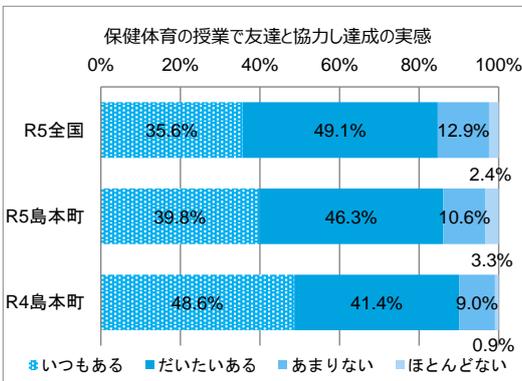
運動習慣等調査（中学校・男子）



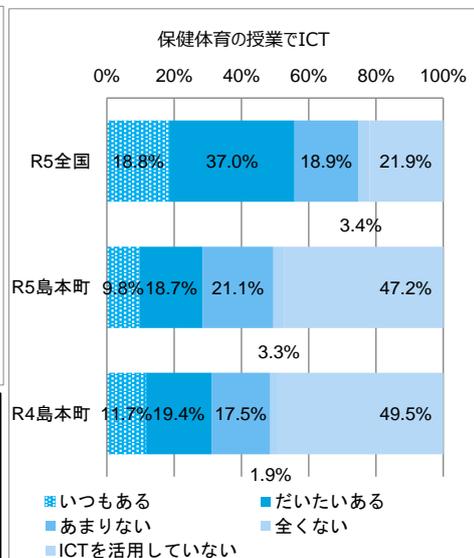
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、令和4年度と比較して「好き」と回答した割合が4.2ポイント高くなった。全国と比較しても2.5ポイント高い。・・・**成果①**



「保健体育の授業は楽しいですか。」に関しては、令和4年度と比較して「楽しい」と回答した割合が11.1ポイント低くなった。全国と比較しても19.2ポイント低く、肯定的回答割合も11.0ポイント低い。・・・**課題①**

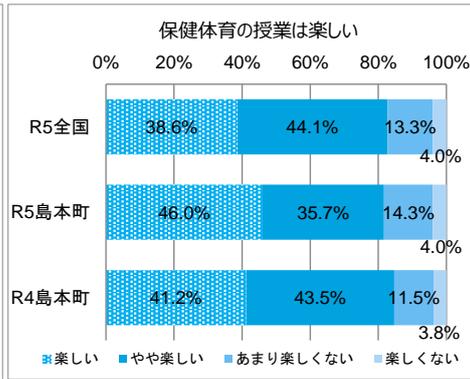
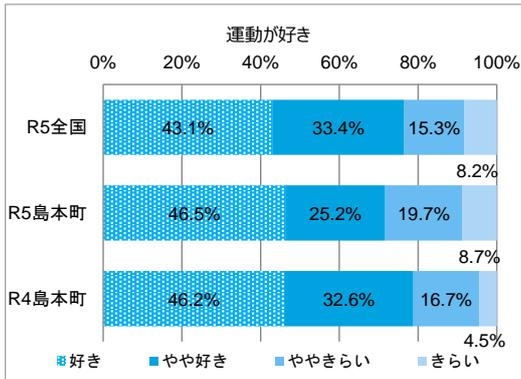


「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和4年度と比較して「いつもある」と回答した割合が8.8ポイント低くなったが、全国と比較すると4.2ポイント高い。・・・**課題①**



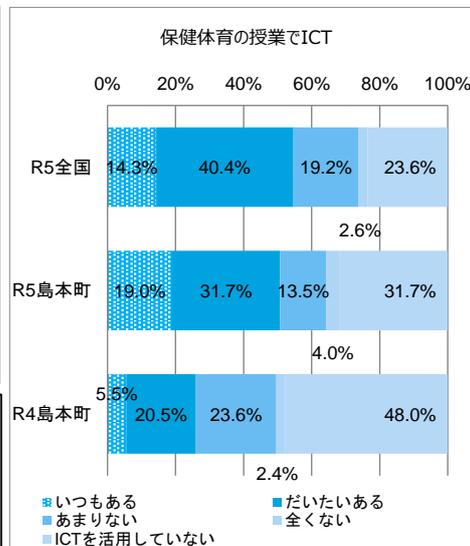
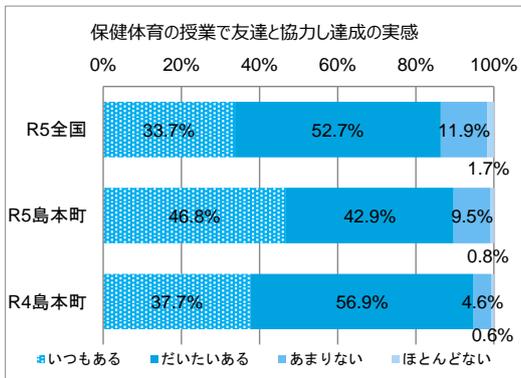
「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和4年度と比較して「いつもある」及び「だいたいある」と回答した割合が2.6ポイント低くなった。また、全国と比較すると27.3ポイント低い。・・・**課題②**

運動習慣等調査（中学校・女子）



「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、令和4年度と比較して「好き」と回答した割合が0.3ポイント高くなった。全国と比較しても3.4ポイント高い。*****成果①**

「保健体育の授業は楽しいですか。」に関しては、令和4年度と比較して「楽しい」と回答した割合が4.8ポイント高くなった。全国と比較しても7.4ポイント高い。



「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和4年度と比較して「いつもある」と回答した割合が9.1ポイント高くなった。全国と比較しても13.1ポイント高い。

「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和4年度と比較して「いつもある」及び「だいたいある」と回答した割合が24.7ポイント高くなったが、全国と比較すると4.0ポイント低い。*****課題②**

調査結果の分析と今後の方策【中学校】

分析

【成果①】

○男子では2種目、女子では4種目で全国平均を上回り、男子では1種目、女子では3種目で令和4年度を上回る結果を出している。また、「運動が好き」の強肯定回答割合においても、全国平均や令和4年度を上回る割合となっている。各中学校での取組において、運動やスポーツが有する楽しさや喜び、関連して高まる体力などの視点を踏まえた実践がなされた成果であると考えられる。

【課題①】

●男子の体力合計点が令和4年度と比較して大きく減少した。また、男子の「保健体育の授業は楽しいですか。」「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして、「できたり、わかったり」することがありますか。」に対する強肯定回答割合についても、令和4年度と比較して大きく減少した。授業に対する肯定的なイメージが中学2年生男子に醸成されていない可能性があり、それが結果に結びついたのではないかと考えられる。

【課題②】

●男女ともに令和4年度と比較して、T得点が大きく減少した種目がある。また、全国平均と比較して、「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に対して、「いつもある」「だいたいある」と回答した生徒の割合が少ない。教員や生徒双方に対して、ICT機器を有効に活用するための場面や知識及び技術を身につけさせることが必要である。

今後の方策

①教科におけるカリキュラム・マネジメントを推進する。

⇒生徒の実情や教員数、施設の要件等を踏まえ、PDCAサイクルに基づき実践と改善を繰り返し、よりよい授業を目指していく。

②実生活に生かす運動の計画を活用する。

⇒保健体育の授業時のみならず、自己の日常生活を振り返り、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るために、体の動きを高める運動の計画を立てて自主的に取り組むことを通じ、包括的な体力及び運動能力の伸長を図る。

③「様々な媒体を用いた協働的体験」の回数を重ねる。

⇒対面でのコミュニケーション、ICTの効果的な活用など、様々な手段を用いて、互いの違いやよさを肯定的に捉えて、自己やグループの課題の達成を楽しむ等の仲間と協働して楽しむ経験を積ませる。